

活動報告

団体名	いっぽん
活動名	被災された方々の心身の疲労や不安を軽減させるためのマッサージケア活動
活動期間	2019年4月1日～2019年9月30日
活動の成果	<p>被災地各所でのマッサージケア活動を行いました。</p> <p>震災から一年が経過し、被災住民の方々と定期的に関わらせていただく中で、今も尚、少しの揺れに身体が敏感に反応し、不安と隣り合わせの中での生活を余儀無くされている方が多くいる一方で、比較的早く平常時に戻った地元札幌の方々には、中々現地の状況が伝わりにくく、地震のことが忘れられているように感じられます。被害が大きかった地域とそうではない地域との温度差が、時の経過とともに徐々に広がっており、住民さまの生の声、被災地の現状を外へ発信することの重要性に活動を通じて気付きました。</p> <p>最初は、地震後に、「身体が辛い」、「良く眠れない」から、という理由でマッサージを受けに来られている方が大多数でしたが、回を重ねる毎に、「当スタッフに会うの月一回の楽しみなんです」と言って、足を運んでくださる方が増えて来たように思われます。いつの日からか、この活動は支援者と現地住民さまの憩いの場になっており、互いにとって良い相乗効果をもたらし、元気・活力・明日への原動力に繋がっているのだということを、この活動を通じて感じました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、北海道胆振東部地震に際し、多大なるお心遣いを賜り誠にありがとうございました。今日まで支援活動を継続できたことは、真心のこもったご寄付、ご支援をお寄せくださった方々のお力によるものであると、重ねて御礼申し上げます。2019年9月6日で、胆振東部地震の発災から1年が経過しましたが、まだまだ被災地では、今後の再建の目処が立っておらず不安を抱え、また来るかもしれない地震に怯えた生活を送られている方々がたくさんいらっしゃいます。</p> <p>このような状況の中、今後も住民様の心情に寄り添った見守り活動を継続して参りたいと思っており、「北海道支え愛ボランティア団体 いっぽん」は、今後も起こり得る大災害に備え、災害時に迅速に動ける団体であるために平時からマッサージケア支援ネットワークを構築し、災害関連死の防止活動に勤めて参りたいと考えております。今後とも、北海道の支え愛の輪を拡げ、持続可能な社会の創造を目指し邁進して参る所存です。皆様の一層のご健勝を心よりお祈り申し上げます。</p>